

平成29年8月24日（第2日目）  
【後期】主任相談支援員養成研修

【講義と演習⑤】  
アセスメント・プラン作成

主任の視点・スーパービジョンについて学ぶ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
浜松市生活自立相談支援センターつながり  
所長 上原 久

## 【講義】

主任の視点・スーパービジョンについて学ぶ

## ●学びのポイント●

- ①主任の役割や視点・スーパービジョンについて学ぶ
- ②事例を通して主任としての関わりとスーパービジョンの実践を学ぶ

主任相談支援員 ⇒ バイザー

相談支援員 ⇒ バイジー

# 1.主任相談支援員の「視点」

「主任相談支援員」は、「主任」という立場から...

①状況を把握し、②観察し、③相談支援員をサポートすることが求められます。

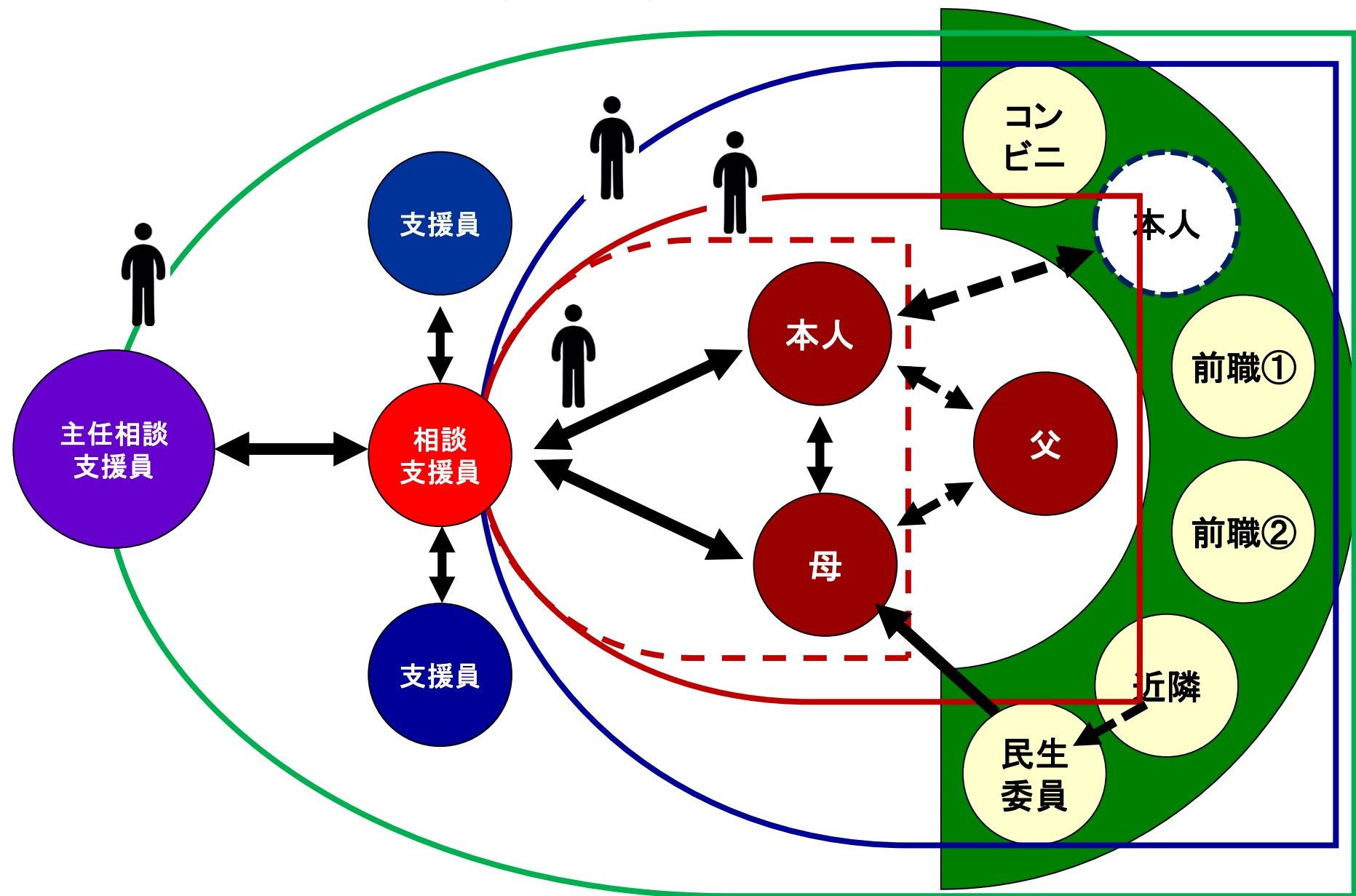
相談員と主任では、「立場」が違います。  
「立場」が違くと...

- ① 見るべきところ
- ② 見えるもの
- ③ アプローチ(助言や働きかけ)

} なども変わります

# 具体的には...

視点: 立ち位置を変えた場合のものの見え方や考え方



## 2.主任相談員が行う「スーパービジョン」

ここでは、次の3点について考えます。

- 【1】 支援員への「ねぎらいの言葉」
- 【2】 主任相談支援員としての「見立て」  
(相談員の視点・視野とは少し違います)
- 【3】 実行可能で具体的なアドバイス+ $\alpha$   
(「解」の提示だけでなく、「考えさせる」ことも)
  - ①「解」はハウツーだけ
  - ②「考える」は本質を読み解く力を培います  
(\*「②」は【2】ができていることが前提)

## 【1】ねぎらいの言葉

- 常に各種支援員（スタッフ）の様子を観察する。
  - ・悩んでいるときの表情
  - ・ぼそっ...とつぶやく言葉
  - ・体調や心理面
  - ・スタッフ間の力動
  - ・家庭事情にも配慮...
  
- 現場で、どのような仕事をしているか推理する。
  - ・事務所に戻ったときの表情
  - ・記録の確認
  - ・数か月前と現在の「仕事の効率」・「伸び」

## 【2】「見立て」(相談員よりも「一歩先を行く見立て」)

①現状の査定

②背景の理解

③当面の課題の焦点化

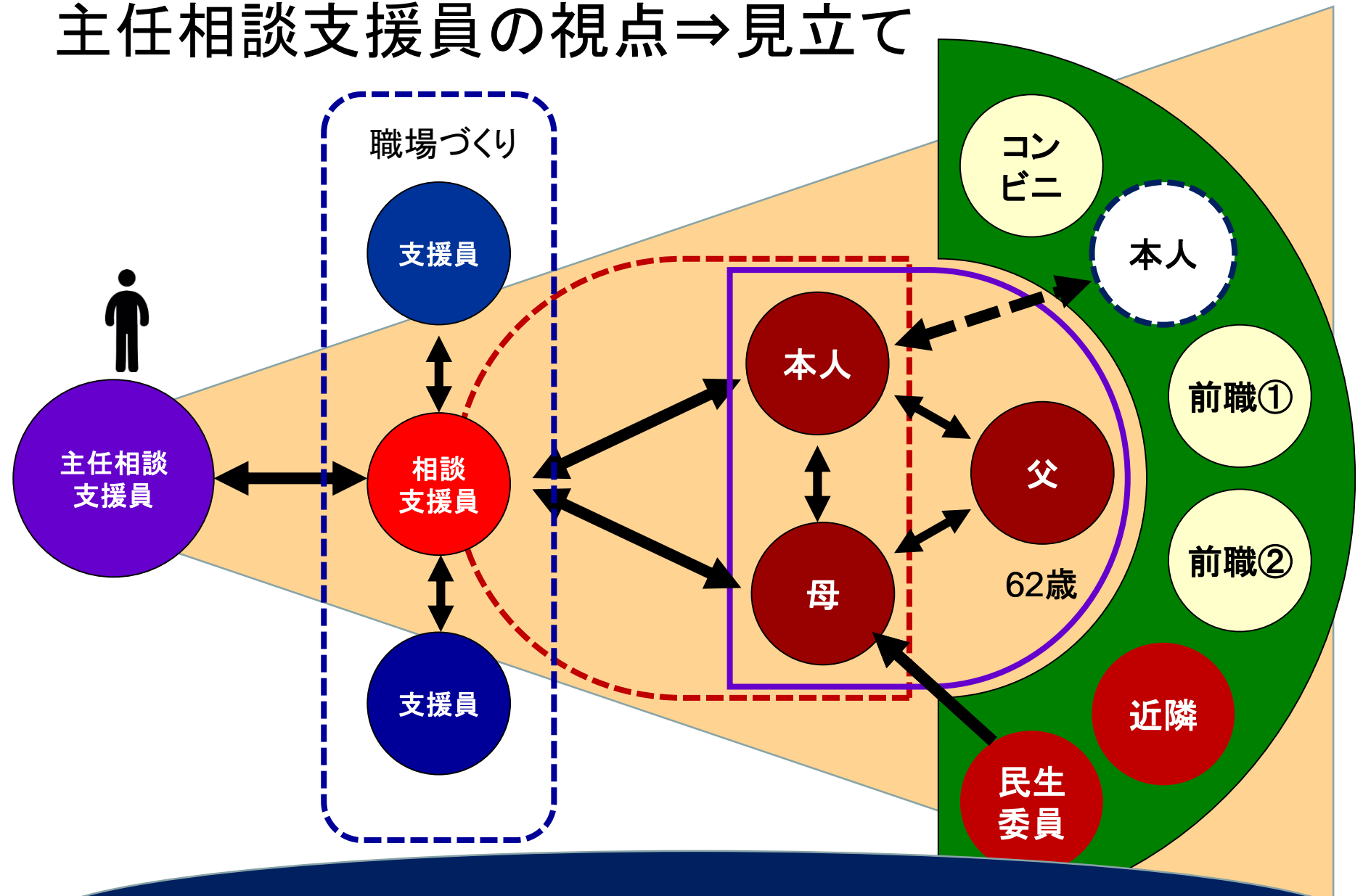
上記について「主任の考え(仮説)≠答え」を提示する



## 【2】「見立て」(相談員よりも「一歩先を行く見立て」)

- ①現状の査定：何が起きているのか？  
問題は何か、いくつあり、どのような状況か。  
本人は1つ1つの問題について理解しているかetc…
- ②背景の理解：そうなった経緯(背景)は何か？  
時間経過、出来事の連関、未解決課題の蓄積等々、  
「今ここに至った背景」を理解する。
- ③当面の課題の焦点化：  
どの課題に着手するかターゲットを決める。  
これを繰り返すと事例の主要テーマが見える場合も。

# 主任相談支援員の視点⇒見立て



当面の課題の絞り込み ⇒ 主要テーマの把握

### 【3】「実行可能で具体的」なアドバイスとは

- 最低限必要なことは、相談員が体感している事象をリアルに感じること(リアルな共感)。
- 主任の感じる「リアリティーの度合い」が、相談員の感じる事象の把握(or心理的負荷の軽減)に役立つ。
- 「相談員が解決することを助ける…」という姿勢。  
(「主任相談員が解決する…」ではない)
- 相談員が「考えて・行動できる」ことがポイント。  
(今すぐどうこうする(なる)ものばかりではない)
- 思考や行動が「次の一歩」に繋がるもの。

# MEMO

A large, empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the 'MEMO' header. It is intended for the user to write the content of their memo.

## 【演習】

主任の視点・スーパービジョンについて学ぶ

## ○演習の趣旨

事例を通して、主任としての関わりとスーパービジョンの実践を学ぶ。

## ○進め方

## ○グループ内の役割分担(司会・発表者)

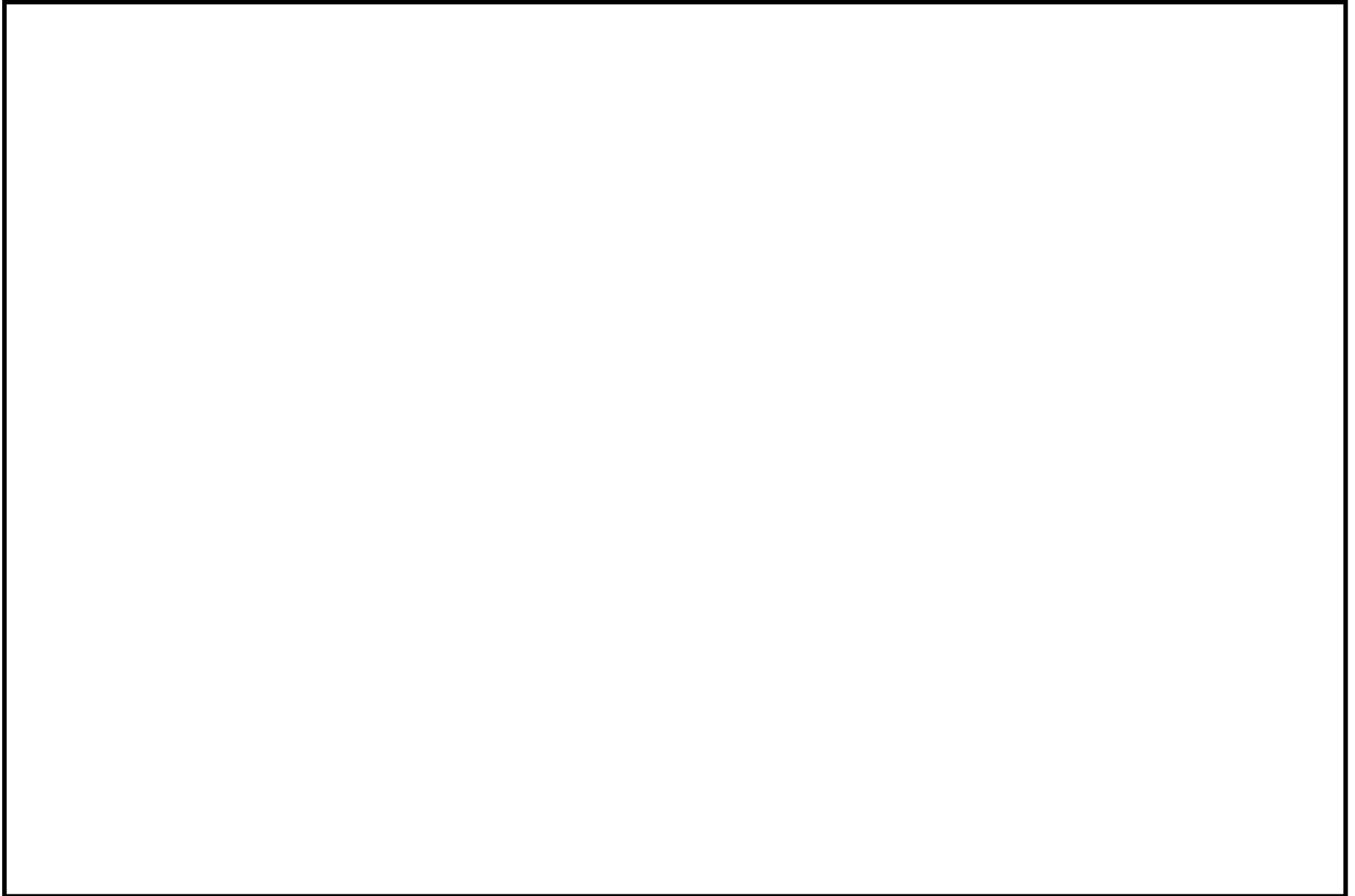
## ○事例紹介

事例シート参照

## ○グループワーク(50分)

- ①主任としての「考え」と「対応」を考える
- ②ワークシートに記入する
- ③グループ内で共有する

# ○グループのまとめ





休憩 15分

○グループ発表

挙手制です。積極的に！

## 【まとめ】

主任の視点・スーパービジョンについて学ぶ

# SV:専門的技術の向上を目的として継続的に行われる訓練

## ●目的

- ⑧バイジー自身が「考える力」を醸成する(主体はバイジー)

## ●前提

- ①「深い共感的理解」をベースにしたバイジー&バイザー関係
- ②バイザー&バイジー関係を規定する「場」 (≠お友達関係)

## ●内容

- ③どのような現象・事象に焦点化し、何を明確化するか
- ④登場人物の誰に焦点化し、何を明確化するか
- ⑤了解可能な言語でフィードバック (⇒バイジーの能力による)

## ●留意点

- ⑥支援の進捗具合により、扱う焦点が異なる
- ⑦バイザーの技量により、介入の角度や深度が異なる

# スーパービジョンの本質的基本構造

目的

「考える力」の醸成

内容

焦点化・明確化・直面化

場意識

継続的な「場」の選択・設定

関係性

深い共感的理解を基盤にした関係性



アウトカム

支持的機能

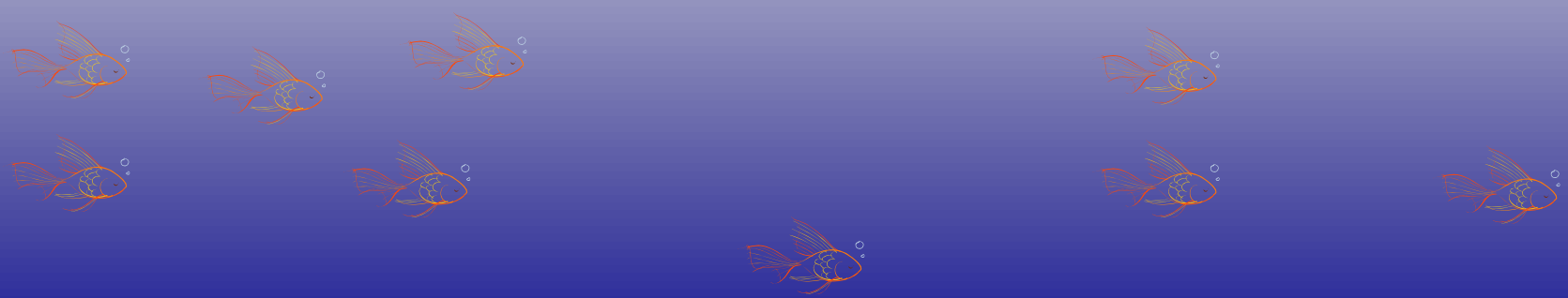
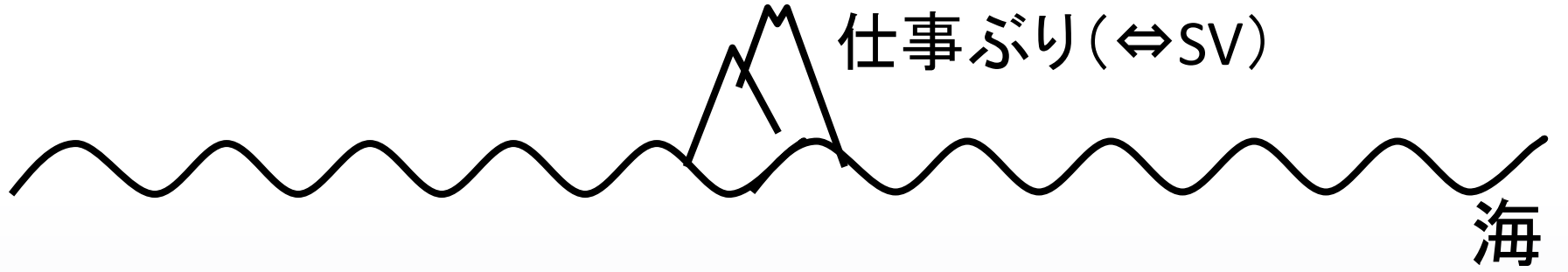
教育的機能

管理的機能

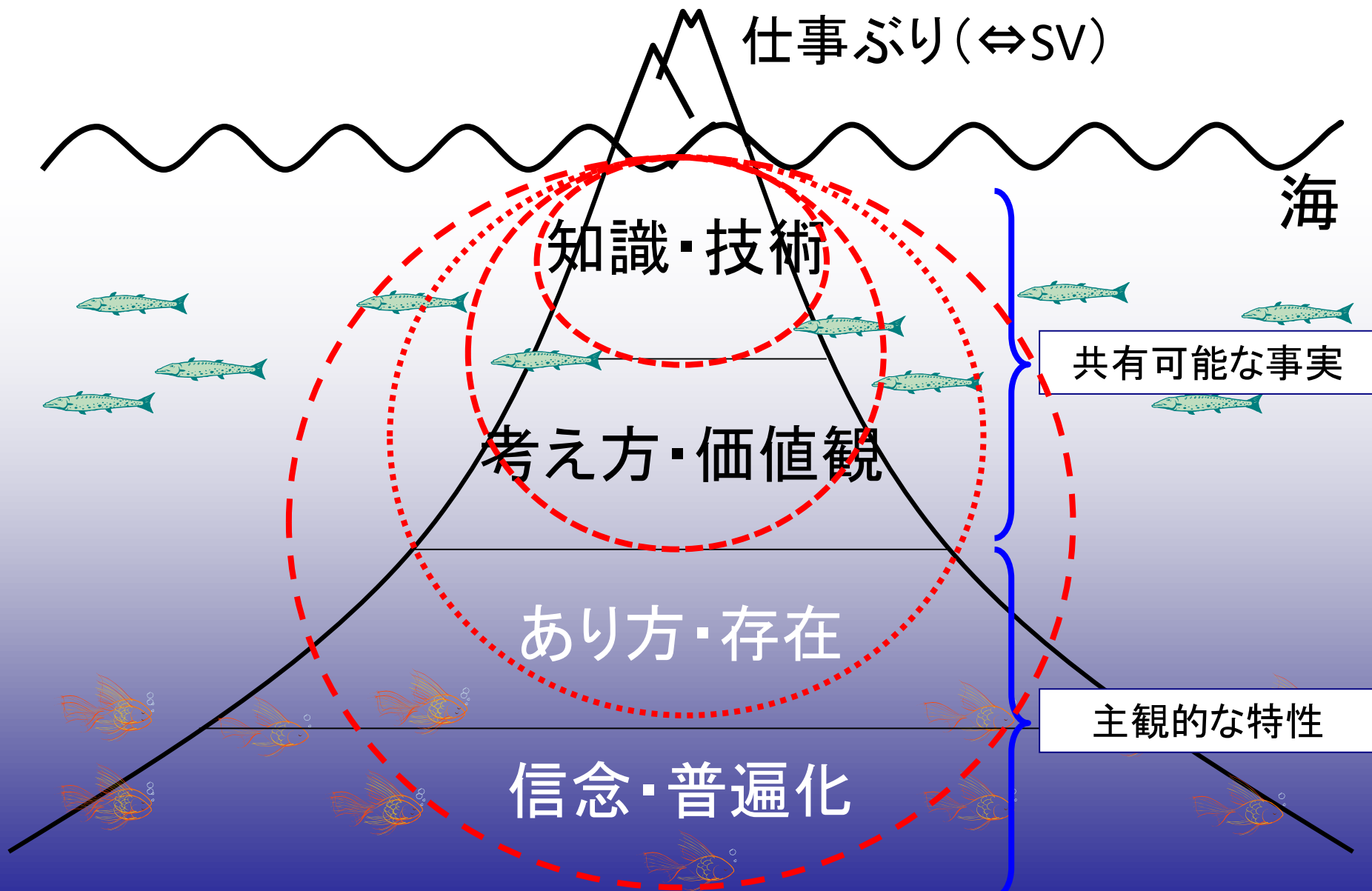
〇〇的機能

〇〇的機能

# スーパービジョンを通してバイジーが身につけているもの



# スーパービジョンを通してバイジーが身につけているもの



## 現場への落とし込み

- 【1】 支援員への「ねぎらいの言葉」
- 【2】 主任相談支援員としての「見立て」
- 【3】 実行可能で具体的なアドバイス

これらについて、「日常的に行える環境」を整えておくことが重要

例えば...

- ①時単位: その時々で
- ②日単位: 朝夕の申し送りで
- ③週単位: 先週の出来事報告会で
- ④月単位: 事業所内事例検討会で
- ⑤年単位: 「〇〇研修会」として
- ⑥その他: 職能団体研修に派遣・研究

「主任だけが考える」のではなく、「その人」or「みんなで考える」...  
そういう“場”を「職場内に仕掛けていくこと」がポイントです。

**皆さんの“創意工夫”が求められています！**



# この講義の振り返り①

Q-1 主任の役割や視点・スーパービジョンについて  
どの程度理解できましたか？

十分  
理解できた



ある程度  
理解できた



どちらとも  
いえない



やや理解  
できなかった



全く理解  
できなかった



Q2 講義と演習を通して、得た知識・理論のうち、  
あなたの役に立ちそうなキーワードを教えてください。

## この講義の振り返り②

Q3 主任としての関わりとスーパービジョンについて、  
あなたはどの程度実践できそうですか？

十分  
実践できる



ある程度  
実践できる



どちらとも  
いえない



ほぼ実践  
できそうにない



全く実践  
できそうにない



Q4 「実務で挑戦したいこと」を1つだけ教えてください。  
結果(できるorできない)は問いません。